

2024年10月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、JAグループの理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、「組合員・利用者の皆さまに安心なサービスの提供を通じて豊かな生活づくりに貢献」するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

本渡五和農業協同組合

I. 取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

<商品選定の考え方>

1. 長期投資を前提とした投資信託であること
2. 手数料が良心的な水準であること
3. 過去の運用実績が相対的に良好であること等

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

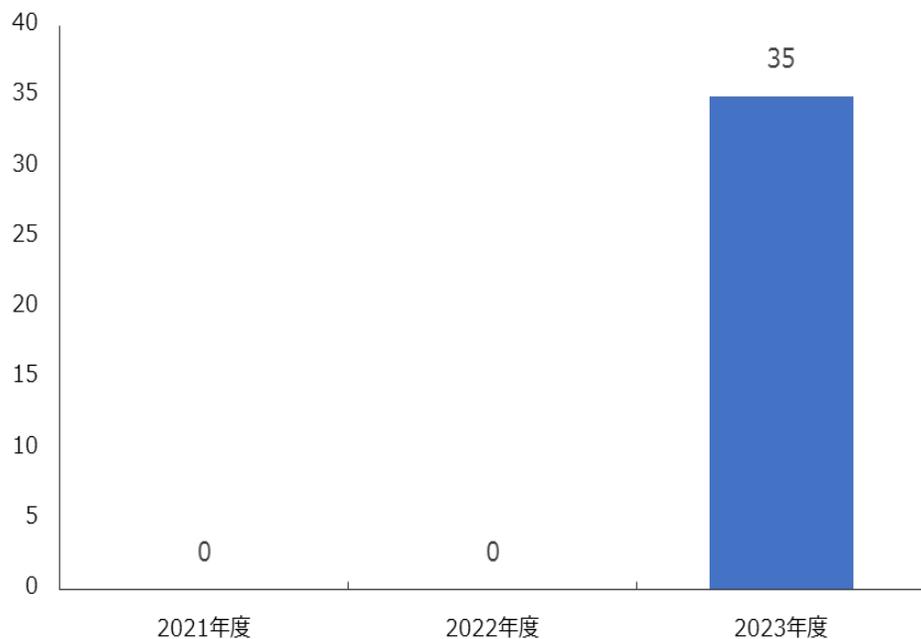
2 お客さま本位のご提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1、2、4、5)】

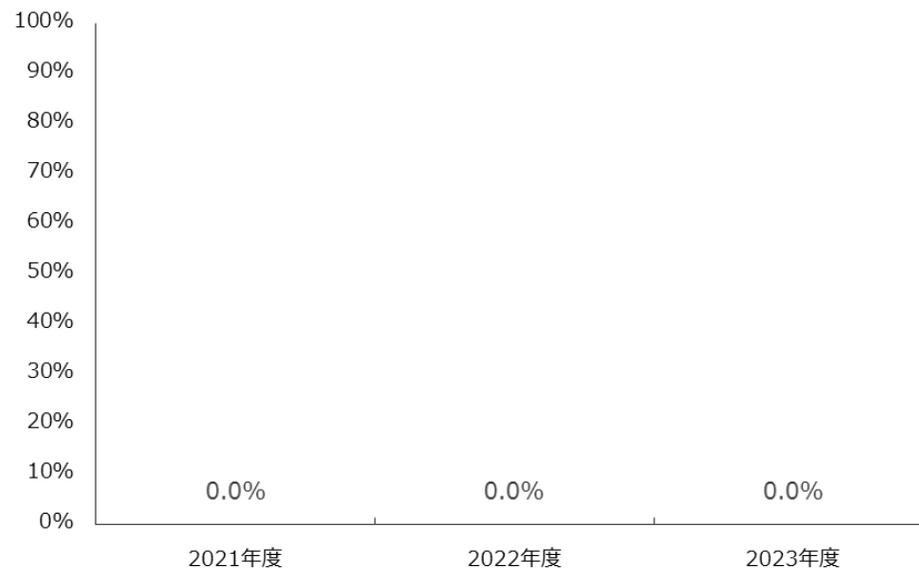
- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が35件となり、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率は、0.0%でした。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



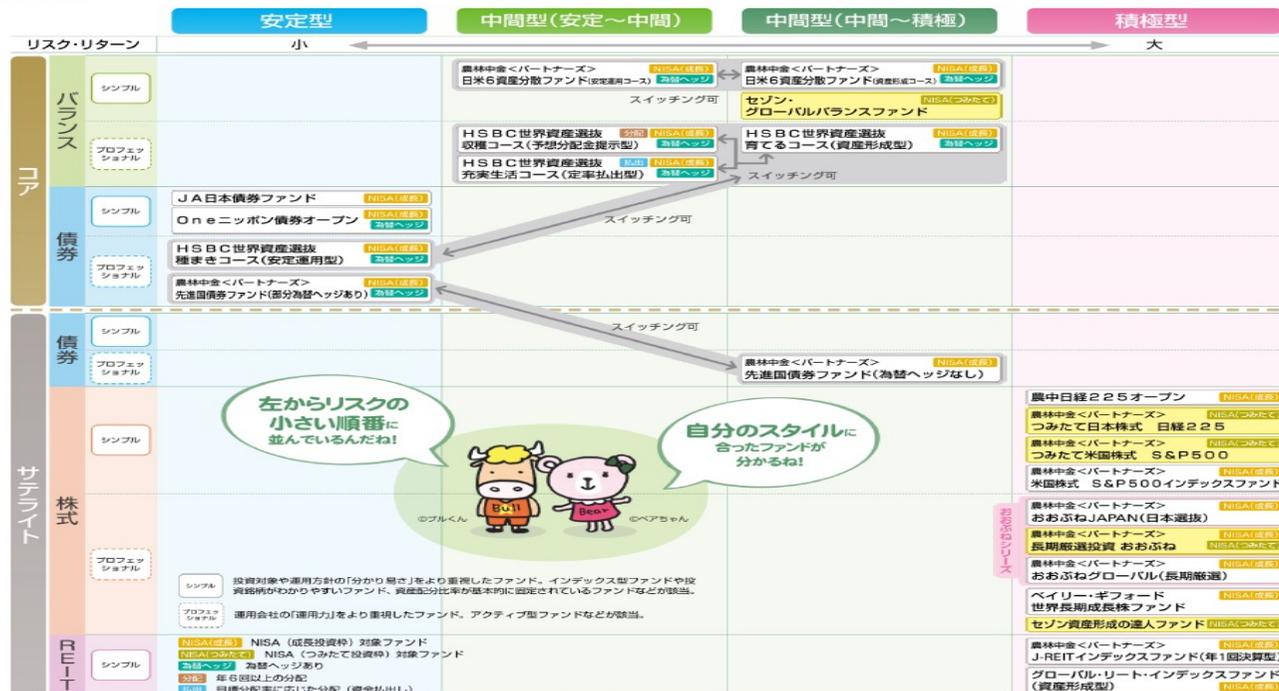
I. 取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップを活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2023年10月から重要情報シートを導入しております。

JAバンクセレクトファンドマップ



左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!

2024年1月

コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りの「コア(中核)資産」と攻めの「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>

コア
- 安定的な運用を目指す
- バランス型ファンド
- 安定型の債券ファンドなど

サテライト
- 個別ニーズに応える単一資産ファンドなど

REIT

債券

株式

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資** 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料** 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績** 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性** 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制** 運用体制について、外部機関の評価を待っていること

お客さまの長期投資にとって最高の提案を目指し、投資信託を厳選しているんだね!

●投資信託は、貯蓄等ではありません。●投資信託は預金保険・貯蓄保険の対象ではありません。●JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託契約に組み入れられた株式・債券・社債等の価格変動や為替変動に伴うリスクのあります。このため、投資信託資産の価値が投資元金を下回るリスク等は、投資信託の購入時に発生し得ます。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目録見書)でご確認ください。

●JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の証券・運用会社は投資信託会社となります。●投資信託の運用による利益および損失は、投資信託の購入者に帰属します。●一部の投資信託には、信託期間中に中途解約できないものや、特定日にしか解約できないものがあります。●投資信託のご購入から約金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代償的な費用等には次のものがあります。なお、これらの手数料等はファンドの購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を正確に算出することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目録見書)でご確認ください。●購入時・申込手数料がかかるファンドがあります。●運用期間中、運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。●臨時・信託財産保護費がかかるファンドがあります。また、外貨に円換して購入・換金するファンドには、上記の各種手数料とは別に為替手数料がかかります。●申込申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目録見書)を十分ご読みください。●ご自身でご確認の上、ご自身でご判断ください。●上記は当該資料作成時点の制度に基づくものであり、今後、制度変更となる場合がございます。

「投資信託説明書(交付目録見書)」のご請求、お申し込みは

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

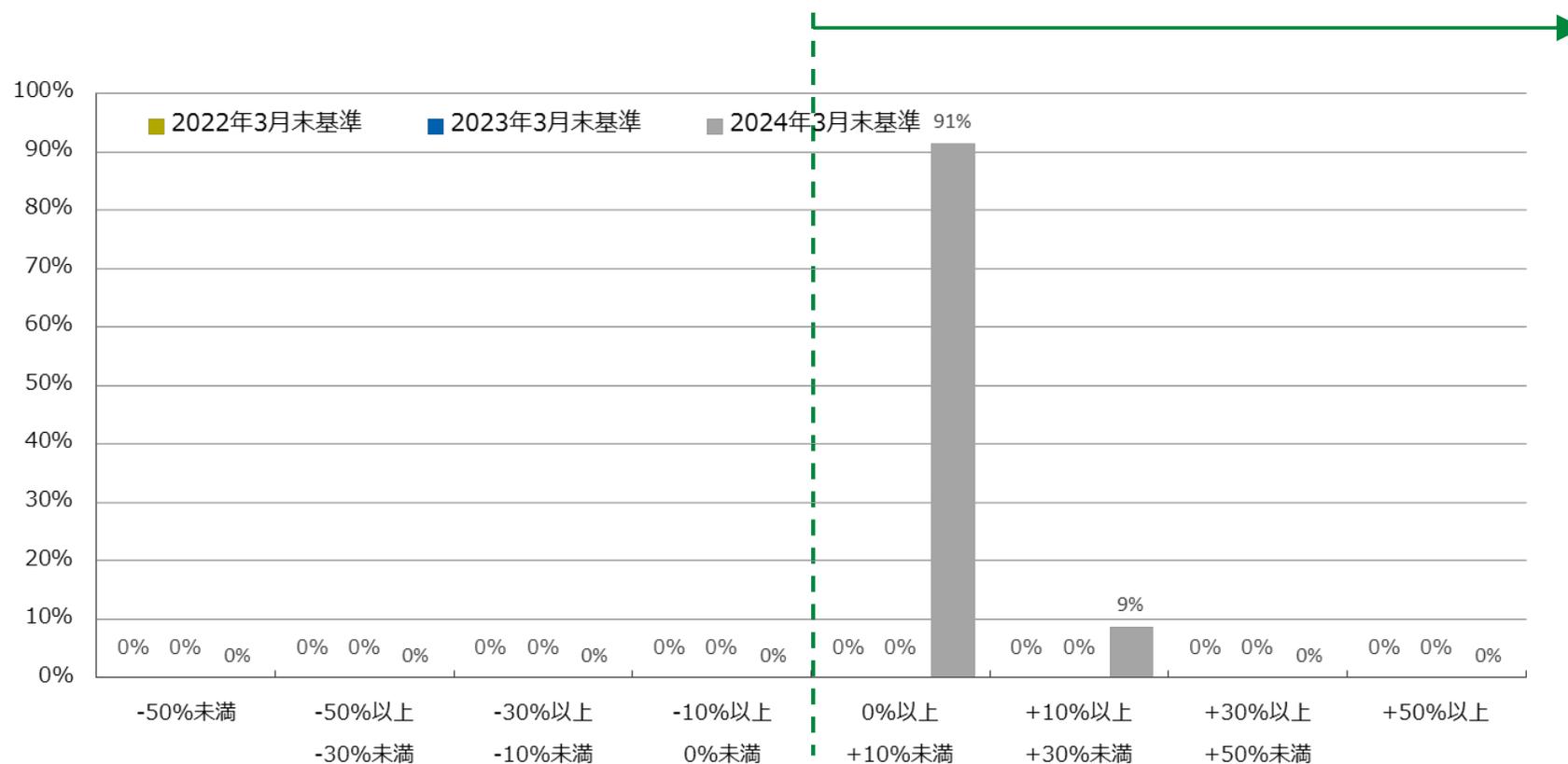
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

当組合は、研修や資格取得の支援等を通じて高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。

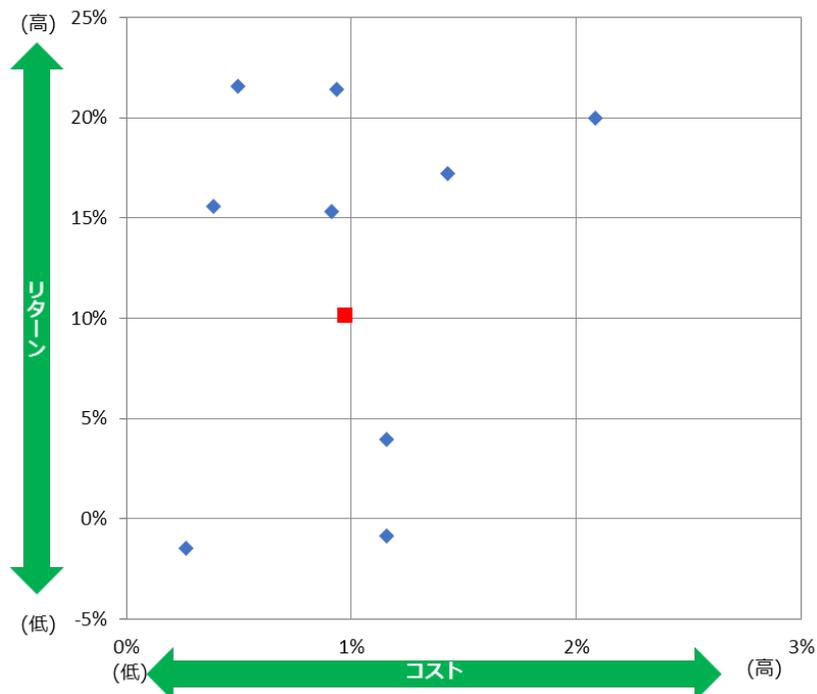


Ⅱ.比較可能な共通K P I

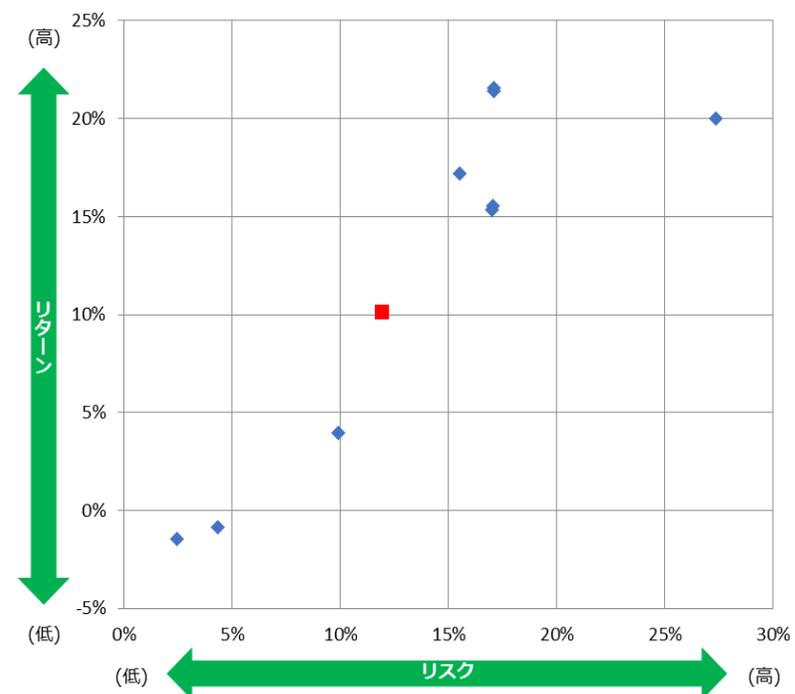
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.97%、平均リスク11.93%に対して、平均リターンは10.13%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

